

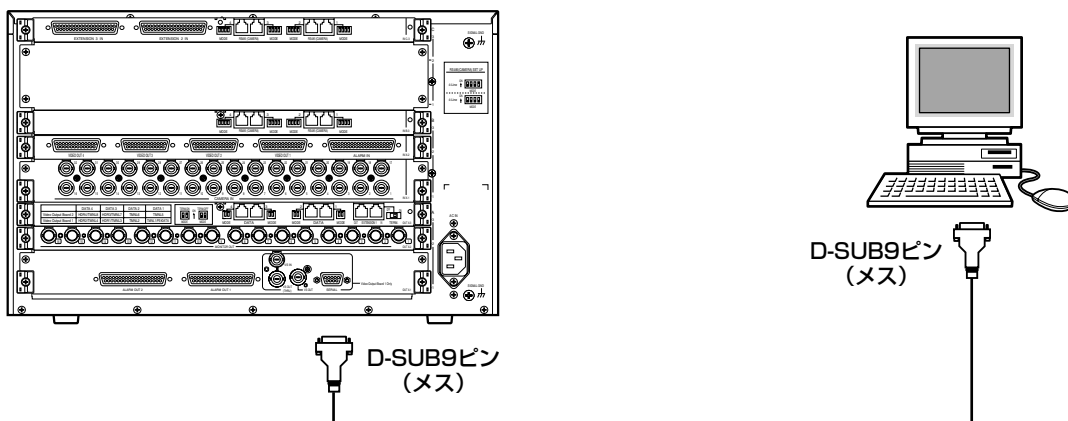
シリアル (RS-232C) コマンドリファレンス

シリアル (RS-232C) とは

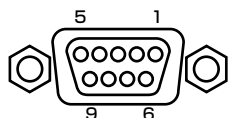
シリアル (RS-232C) とはデータ通信の規格です。シリアル (RS-232C) インターフェイスを使ってパーソナルコンピュータ (以下、PC) から本機に特定のコマンドを送信することによって本機の各種機能を操作することができます。

PCとの接続例

本機とPCはシリアル (RS-232C) クロスケーブルで接続します。



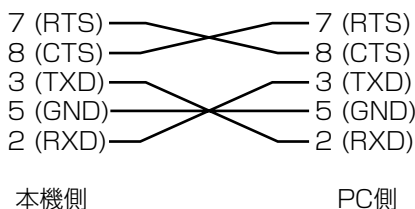
ケーブル仕様は次のピン配と結線図に合わせてください。



シリアルポートを対面から見た図

ピン番号	信号名	方向
1	CD	IN
2	RXD	IN
3	TXD	OUT
4	DTR	OUT
5	SG	—
6	DSR	IN
7	RTS	OUT
8	CTS	IN
9	RI	IN

クロスケーブルの接続例



重要

- USB変換を使ったシリアル (RS-232C) の通信は動作を保証できません。
- シリアル (RS-232C) を使ってPCから本機を操作する場合は、以下の通信条件を一致させる必要があります。本機の通信条件は「セットアップメニュー」で変更します (WJ-SX1000シリーズ取扱説明書 「システムに関する設定を行う [400 システム]」)。「SX1000シリーズ設定ツール」では変更することができません。
 - ・ 通信速度 (ボーレート) : 38 400 bps / 19 200 bps / 9 600 bps
(工場出荷時: 38 400 bps)
 - ・ データ長 (データビット) : 8ビット (固定)
 - ・ パリティチェック : なし (固定)
 - ・ ストップビット : 1ビット (固定)
- シリアル端子は前面または後面のどちらか一方を使用してください。後面のシリアル端子を使用する場合は、セットアップメニューの [400 システム] 画面でシリアル端子の設定を行ってください。

コマンドフォーマット

ここでは送信コマンド（PC→本機）、応答コマンド（PC←本機）などのフォーマットについて説明します。

送信コマンド（PC→本機）

PCから本機に特定のコマンドを定められたフォーマットで送信します。送信するキャラクターコードはすべてASCIIコードです。

シンタックス	[STX]	[送信コマンド]	[パラメーター]	[ETX]
キャラクターコード	02h			03h
STX	：データの始まりを示します。データの始まりには、必ずSTX（キャラクターコード02h）を付けます。hは16進数を示します。			
送信コマンド	：コマンドリストに記載されているコマンドを指定します。			
パラメーター	：パラメーターが必要なコマンドにのみ付けます。コマンドとパラメーターはコロン（:）で区切ります。また、パラメーターはコマンドによって複数指定する場合があります。この場合はパラメーター同士の間をコロン（:）で区切ります。			
ETX	：データの終わりを示します。データの終わりには必ずETX（キャラクターコード03h）を付けます。hは16進数を示します。			

ACK応答（PC←本機）について

本機はPCから正常にコマンドを受信すると、受信したコマンドに対して20 ms以内にACK（キャラクターコード06h）を返します。ACKを返すと本機はコマンドを処理します。

シンタックス	[ACK]
キャラクターコード	06h

NAK応答（PC←本機）について

本機はPCからコマンドを受信している間にエラーが発生すると、20 ms以内にNAK（キャラクターコード15h）を返します。NAKにはエラーの内容に従ってNAKコードが付きます。なお、NAKを返した場合にコマンドは処理されません。

シンタックス	[NAK]	[NAKコード]
キャラクターコード	15h	

NAKコード : 次の中からエラーの内容によってNAKコードが決まります。

【NAKコード一覧】

- キャラクターコード31h（パリティエラー）
- キャラクターコード32h（オーバーフローエラー）
- キャラクターコード33h（フレーミングエラー）
- キャラクターコード34h（オーバーランエラー）
- キャラクターコード35h（タイムアウトエラー）

応答コマンド（PC←本機）について

本機はPCにACKを返した後にコマンドを処理します。この処理が終了するとPCに応答コマンドを返します。応答コマンドはコマンドリストに記載されています。

エラー応答 (PC←本機) について

本機はPCの送信コマンドの処理が正常にできなかった場合に送信コマンドに対してエラー応答を返します。エラー応答は応答コマンドの後にエラーコードを付けて返されます。応答コマンドとエラーコードとの間はコロン (:) で区切られます。なお、エラーコードはエラーの内容によって決められています。下記のエラーコード一覧をお読みください。

シンタックス	[STX]	[応答コマンド]	: [エラーコード]	[ETX]
キャラクターコード	02h			03h
STX	: データの始まりを示します。データの始まりには、必ずSTX (キャラクターコード02h) が付きます。「h」は16進数を示します。			
応答コマンド	: コマンドリストに記載されている応答コマンドが入ります。 (エラーコードが付く場合はコマンドの一部が省略される場合があります)			
エラーコード	: エラーの内容に従ったエラーコードが付きます。 また、エラーコードと応答コマンドの間はコロン (:) で区切られます。 【エラーコード一覧】			
	ER001	コマンド無効 (対応するコマンドがない)		
	ER002	パラメーター無効 (対応するパラメーターがない)		
	ER301	コマンド無効 (動作モードが対応していない)		
	ER302	パラメーター無効 (動作モードが対応していない)		
ETX	: データの終わりを示します。データの終わりには必ずETX (キャラクターコード03h) が付きます。「h」は16進数を示します。			

コマンド一覧

基本的な操作

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
ログイン	CMD:Wooooo-ppppp	OKの場合は ANS:WOK NGの場合は ANS:WNG	ooooo=**** ユーザーID 5けた ppppp=**** パスワード5けた 例えばユーザーID・パスワードが5けたに満たない「1000」などの場合は「oooo」に「01000」を指定します。
ログアウト	CMD:HmmLG	ANS:HmmLG	mm=01~16 モニター番号 ※以降、断りがない場合、「mm」にはモニター番号を入れます。
モニター選択	CMD:HmmMS	ANS:HmmMS	
カメラ選択	CMD:HmmCSccc	ANS:HmmCSccc	ccc=001~999 カメラ番号 (指定したカメラ番号に映像を切り替える) +1 カメラ番号+1 (次に番号の大きいカメラに切り替える) -1 カメラ番号-1 (次に番号の小さいカメラに切り替える) 例えばカメラ番号「5」を選択する場合は「ccc」に「005」を入れます。
カメラポジション選択	CMD:HmmPSncccc	ANS:HmmPSncccc	n= 1~8 カテゴリー番号 cccc= 0000~9999 カメラポジション番号
	CMD:HmmPScc	ANS:HmmPScc	cc= +1 カメラポジションを次のポジションに切り替える cc= -1 カメラポジションを前のポジションに切り替える

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
アングル切り替え	CMD:HmmPAcc	ANS:HmmPAcc	cc=+1 アングルをA→B→C→D→Aの方向に切り替える -1 アングルをA→D→C→B→Aの方向に切り替える
マルチアングル	CMD:HmmPM	ANS:HmmPM	マルチアングル表示に切り替える
カメラ選択履歴	CMD:HmmCHcc	ANS:HmmCHcc	cc=+1 ひとつ後ろのカメラ選択履歴に切り替える -1 ひとつ前のカメラ選択履歴に切り替える
ツアーシーケンス	CMD:HmmSTnn	ANS:HmmSTnn	nn=01~32 ツアーシーケンス番号
シーケンス一時停止	CMD:HmmSO	ANS:HmmSON	n=0 シーケンス一時停止の解除 1 シーケンス一時停止
シーケンス停止	CMD:HmmSR	ANS:HmmSR	
シーケンスのステップ切替 (順送り)	CMD:HmmSI	ANS:HmmSI	シーケンス一時停止中のみ有効です。
シーケンスのステップ切替 (逆戻し)	CMD:HmmSD	ANS:HmmSD	シーケンス一時停止中のみ有効です。
モニターロック	CMD:HmmLK	ANS:HmmLKn	動作はトグルとなります。状態は応答で確認することができます。 n=0 モニターロック「OFF」 1 モニターロック「ON」
画面表示のON/OFF (全体)	CMD:HmmAL(o)	ANS:HmmALn	動作はトグルとなります。状態は応答で確認することができます。 n=0 表示「OFF」 1 表示「ON」 2 ユーザーが設定した表示状態 (CMD:HmmALのみ) また、パラメーター「o」を付けると、表示位置を1文字単位で移動させることができます。 o=L 位置移動「左」 R 位置移動「右」 U 位置移動「上」 D 位置移動「下」
画面表示のON/OFF (日時情報のみ)	CMD:HmmTM(o)	ANS:HmmTMn	「画面表示のON/OFF (全体)」と同じ ※n=2は日付・時刻のみ表示。
画面表示のON/OFF (カメラ情報のみ)	CMD:HmmTL(o)	ANS:HmmTLn	「画面表示のON/OFF (全体)」と同じ ※ただし、n=2はありません。
画面表示のON/OFF (イベント情報のみ)	CMD:HmmTE(o)	ANS:HmmTEn	「画面表示のON/OFF (全体)」と同じ ※ただし、n=2はありません。
画面表示のON/OFF (モニター情報のみ)	CMD:HmmTO(o)	ANS:HmmTON	「画面表示のON/OFF (全体)」と同じ ※ただし、n=2はありません。
時刻の設定	CMD:F00 :YYYY:MM :DD:hh :mm:ss	なし	YYYY= 2006~2099 年 MM= 01~12 月 DD= 01~31 日 hh= 00~23 時 mm= 00~59 分 ss= 00~59 秒
アラーム履歴画面の表示	CMD:HmmDA	ANS:HmmDAn	動作はトグルとなります。状態は応答で確認することができます。 n=0 アラーム履歴表示「OFF」 1 アラーム履歴表示「ON」

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
ビデオロス履歴の表示	CMD:HmmDV	ANS:HmmDVn	動作はトグルとなります。状態は応答で確認することができます。 n=0 表示「OFF」 1 表示「ON」
シリアルアラーム受信 エラー履歴の表示	CMD:HmmDH	ANS:HmmDHn	動作はトグルとなります。状態は応答で確認することができます。 n=0 表示「OFF」 1 表示「ON」
運用モード切り替え	CMD:H00MDn	ANS:H00MDn	N=0 スケジュールモード 1 Aモード 2 Bモード
一括カメラ制御	CMD:H00ACn	ANS:H00ACn	N=0 一括プリセットポジション1番 1 一括カメラクリーニング 2 一括外部制御OFF ※ただし、ロック状態とアラーム状態のカメラには実行されません。

本機の設定に関する操作

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
セットアップメニュー の表示	CMD:HmmSS	ANS:HmmSS	
セットアップメニュー の終了	CMD:HmmSE	ANS:HmmSE	
カーソル移動「左」	CMD:AmmJL	なし	
カーソル移動「右」	CMD:AmmJR	なし	
カーソル移動「上」	CMD:AmmJU	なし	
カーソル移動「下」	CMD:AmmJD	なし	
数字入力「0」	CMD:AmmT0	なし	
数字入力「1」	CMD:AmmT1	なし	
数字入力「2」	CMD:AmmT2	なし	
数字入力「3」	CMD:AmmT3	なし	
数字入力「4」	CMD:AmmT4	なし	
数字入力「5」	CMD:AmmT5	なし	
数字入力「6」	CMD:AmmT6	なし	
数字入力「7」	CMD:AmmT7	なし	
数字入力「8」	CMD:AmmT8	なし	
数字入力「9」	CMD:AmmT9	なし	
下層画面への移動	CMD:AmmST	なし	設定値の確定としても使用されます。
上層画面への移動	CMD:AmmES	なし	最上位のメニューを表示しているときに実行すると、設定画面が終了します。
パラメーター切替 (+1)	CMD:AmmIN	なし	
パラメーター切替 (-1)	CMD:AmmDE	なし	
入力値の消去	CMD:AmmDL	なし	
ページ切替 (順方向)	CMD:AmmP+	なし	各種履歴画面においても有効です。
ページ切替 (逆方向)	CMD:AmmP-	なし	各種履歴画面においても有効です。

アラームに関する操作

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
アラーム抑止	MAD	madn	動作はトグルとなります。状態は応答で確認することができます。 n=0 アラーム抑止「OFF」 1 アラーム抑止「ON」
アラームモニターリセット	CMD:HmmAR	ANS:HmmAR	モニター単位でアラームをリセットします。
アラームオールリセット	CMD:H00AA	ANS:H00AA	システム内の全アラームをリセットします。
アラーム履歴の取得	QAD :YYYYMMDDHHMMSS :yyyymmddhhmmss	qad :nnnn :yyyymmddhhmmss :ee :nnnnn :aaa :bbb :ccc :ddd :ttt (アラーム情報1) :yyyymmddhhmmss :ee :nnnnn :aaa :bbb :ccc :ddd :ttt (アラーム情報2) : : :yyyymmddhhmmss :ee :nnnnn :aaa :bbb :ccc :ddd :ttt (アラーム情報n)	本機のアラーム履歴を日時で指定（開始と終了）して取得します。 ●送信コマンドのパラメーター YYYYMMDDHHMMSS= 検索開始の日付・時刻（未来側） 最新のログを指定する場合は 「YYYYMMDDHHMMSS」に 「9999999999999999」を入れてください。 yyyymmddhhmmss=検索開始の日付・時刻（過去側） 最古のログを指定する場合は 「YYYYMMDDHHMMSS」に 「0000000000000000」を入れてください。 ●応答コマンドのパラメーター nnnn= 0000～1000 検索結果件数 yyyymmdd= 年月日 hhmmss= 時分秒 ee=00 シリアルアラーム 10 端子アラーム 20 カメラアラーム 30 レコーダーアラーム 41 アラーム抑止 OFF 42 アラーム抑止 ON 51 電源 OFF 52 電源 ON 61 メンテナンス終了 62 メンテナンス開始 nnnnn=10001～89999 カテゴリー番号（最上位けた） カメラポジション番号 (下4けた) 00001～00999 カメラアラーム、 レコーダーアラームのカメラ 番号 00000 上記以外 aaa=001～999 アングルAのカメラ番号 000 アングルA設定なし bbb=001～999 アングルBのカメラ番号 000 アングルA設定なし

(次ページへ続く)

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
			ccc=001~999 アングルCのカメラ番号 000 アングルC設定なし ddd=001~999 アングルDのカメラ番号 000 アングルD設定なし tttt= 0001~0128 シリアルアラームタイトル番号 1001~1128 端子アラームタイトル番号 0000 上記以外の場合
ビデオロス履歴の取得	QVD :YYYYMMDDHHMMSS :yyymddhhmmss	qvd :nnnn :yyymddhhmmss :vw:s (履歴情報1) :yyymddhhmmss :vw:s (履歴情報2) : :yyymddhhmmss vw:s (履歴情報n)	本機のビデオロス履歴を日時で指定(開始と終了)して取得します。 ●送信コマンドのパラメーター YYYYMMDDHHMMSS= 検索開始の日付・時刻(未来側) 最新のログを指定する場合は 「YYYYMMDDHHMMSS」に 「99999999999999」を入れてください。 yyymddhhmmss=検索終了の日付・時刻 (過去側) 最古のログを指定する場合は 「YYYYMMDDHHMMSS」に 「00000000000000」を入れてください。 ●応答コマンドのパラメーター nnnn= 0000~1000 検索結果件数 yyymdd= 年月日 hhmmss= 時分秒 vw= 001~999 カメラ番号 s= 0 ビデオロス発生 1 ビデオロス復帰
シリアルアラーム受信エラー履歴の取得	QHD :YYYYMMDDHHMMSS :yyymddhhmmss	qhd :nnn :yyymddhhmmss :r (履歴情報1) :yyymddhhmmss :r (履歴情報2) : :yyymddhhmmss :r (履歴情報n)	本機のシリアルアラームの受信エラー履歴を日時で指定(開始と終了)して取得します。 ●送信コマンドのパラメーター YYYYMMDDHHMMSS= 検索開始の日付・時刻(未来側) 最新のログを指定する場合は 「YYYYMMDDHHMMSS」に 「99999999999999」を入れてください。 yyymddhhmmss=検索終了の日付・時刻 (過去側) 最古のログを指定する場合は 「YYYYMMDDHHMMSS」に 「00000000000000」を入れてください。 ●応答コマンドのパラメーター nnn= 000~100 検索結果件数 yyymdd= 年月日 hhmmss= 時分秒 r= 0 パリティエラー発生 1 フレーミングエラー発生 2 オーバーランエラー発生

カメラ／レシーバーに対する操作

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
パン・チルト	CMD:CmmPTcccxyy	なし	ccc=001~999 カメラ番号 xx= 00h~C0h パン方向（横方向）の速度指定 yy= 00h~C0h チルト方向（縦方向）の速度指定 00h パン・チルトの停止 01h~40h 上または右方向 （40hが最大速度、01hが停止側） 81h~C0h 下または左方向 （C0hが最大速度、81hが停止側） hは16進数を示します。
ズーム	CMD:CmmZMcccn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 nn= 00h ズーム停止 10h~13h 望遠 （13hが最大速度、10hが最低速度） 20h~23h 広角 （23hが最大速度、20hが最低速度） hは16進数を示します。
フォーカス	CMD:CmmFCcccn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 nn= 00h フォーカス停止 10h~13h 近 （13hが最大速度、10hが最低速度） 20h~23h 遠 （23hが最大速度、20hが最低速度） 30h オートフォーカス hは16進数を示します。
アイリス	CMD:CmmIRcccn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 nn= 00 アイリス停止 10h~13h 開 （13hが最大速度、10hが最低速度） 20h~23h 閉 （23hが最大速度、20hが最低速度） 30h アイリスリセット hは16進数を示します。
カメラのセットアップ メニュー	CMD:CmmCMcccn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 n= 0 カメラのメニュー表示「OFF」 1 カメラのメニュー表示「ON」 カメラセットアップメニューの操作は本機の セットアップメニュー用コマンドを次の操作と して使用します。 CMD:AmmJL カーソル移動「左」 CMD:AmmJR カーソル移動「右」 CMD:AmmJU カーソル移動「上」 CMD:AmmJD カーソル移動「下」 CMD:AmmST 下層画面への移動 CMD:AmmES 上層画面への移動 CMD:AmmIN リセット CMD:AmmDE オールリセット

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
プリセット登録	CMD:CmmPScccnnn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 nnn=001~256 プリセット番号
プリセット移動	CMD:CmmPMcccnnn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 nnn=001~256 プリセット番号 000 ホームポジション
白黒 (B/W) 切替	CMD:CmmBWcccn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 n= 0 白黒モード「OFF」 1 白黒モード「ON」 2 白黒モード「AUTO1」 3 白黒モード「AUTO2」
パトロール	CMD:CmmPAcccn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 n= 0 設定・実行の停止 1 実行 2 設定の開始
オートパン	CMD:CmmAPcccn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 n= 0 オートパンの始点設定 1 オートパンの終点設定 2 オートパンの反転 (オートパン動作中は受け付けられません) 3 オートパンの実行 4 オートソートの実行 5 オートシーケンスの実行
カメラファンクション	CMD:CmmCFcccnnn	なし	ccc= 001~999 カメラ番号 nnnn=0001~4096 カメラファンクション 番号
ワイパー	CMD:CmmWPcccn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 n= 0 ワイパー「OFF」 1 ワイパー「ON」 ワイパーは「ON」にしてから、およそ20秒後に自動で停止します。
デフロスター	CMD:CmmDFcccn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 n= 0 デフロスター「OFF」 1 デフロスター「ON」 デフロスターは「ON」にしてから、数分後に自動で停止します。
外部制御1	CMD:CmmA1cccn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 n= 0 外部制御1「OFF」 1 外部制御1「ON」 ラッチモードのみに対応しています。
外部制御2	CMD:CmmA2cccn	なし	ccc=001~999 カメラ番号 n= 0 外部制御2「OFF」 1 外部制御2「ON」 ラッチモードのみに対応しています。

レコーダーに対する操作

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
レコーダー選択	CMD:HmmRSnn	ANS:HmmRSnn	nn=1 レコーダー1 『選択』 2 レコーダー2 『選択』 … … 8 レコーダー8 『選択』
ディスク選択	CMD:RmmDSn	ANS:RmmDS	n=0 HDD通常領域/イベント領域 1 HDDコピー領域 2 コピー1端子に接続されたメディア 3 コピー2端子に接続されたメディア ※WJ-RT416シリーズには対応していません。
再生	CMD:RmmPL	ANS:RmmPL	
再生一時停止	CMD:RmmPA	ANS:RmmPA	
停止 (再生・録画)	CMD:RmmSPn	ANS:RmmSPn	n=0 「再生停止」 1 「録画停止」 V 「再生VMD検索停止」 ※「再生VMD検索停止」はWJ-RT416シリーズには対応していません。
早送り	CMD:RmmFF	ANS:RmmFF	
早戻し	CMD:RmmRW	ANS:RmmRW	
コマ送り	CMD:RmmFA	ANS:RmmFA	
逆コマ送り	CMD:RmmRA	ANS:RmmRA	
次レコードスキップ	CMD:RmmFK	ANS:RmmFK	
前レコードスキップ	CMD:RmmRK	ANS:RmmRK	
マーキング	CMD:RmmMP	ANS:RmmMP	※WJ-RT416シリーズには対応していません。
最新映像再生	CMD:RmmPM	ANS:RmmPM	※WJ-RT416シリーズには対応していません。
マニュアル録画	CMD:RmmRC	ANS:RmmRC	
検索画面の表示	CMD:RmmSC	ANS:RmmSC	レコーダーで前面の [サーチ] ボタンを押したときと同じように各サーチ画面の表示がトグルで切り替わります。 レコーダーの検索画面の操作は本機の設定画面用コマンドを次の操作として使用します。 CMD:AmmSE 検索画面の終了 CMD:AmmJL カーソル移動「左」 CMD:AmmJR カーソル移動「右」 CMD:AmmJU カーソル移動「上」 CMD:AmmJD カーソル移動「下」 CMD:AmmST 項目の選択 CMD:AmmIN パラメーター切替 (+1) 入力フィールド内の カーソル右移動 (WJ-RT416シリーズの場合) CMD:AmmDE パラメーター切替 (-1) 入力フィールド内の カーソル左移動 (WJ-RT416シリーズの場合)

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
			CMD:AmmP+ ページ切替 (順方向) ※ CMD:AmmP- ページ切替 (逆方向) ※ ※WJ-RT416シリーズには対応していません。 以下のコマンドは、WJ-RT416シリーズにのみ使用できます。 CMD:AmmT0 数字入力「0」 CMD:AmmT1 数字入力「1」 CMD:AmmT2 数字入力「2」 CMD:AmmT3 数字入力「3」 CMD:AmmT4 数字入力「4」 CMD:AmmT5 数字入力「5」 CMD:AmmT6 数字入力「6」 CMD:AmmT7 数字入力「7」 CMD:AmmT8 数字入力「8」 CMD:AmmT9 数字入力「9」
サムネール表示切替	CMD:RmmTN	ANS:RmmTN	動作は「リスト表示」と「サムネール表示」のトグルとなります。 ※WJ-RT416シリーズには対応していません。
コピー画面表示	CMD:RmmPD	ANS:RmmPD	リスト表示中のみ操作が可能です。
テキスト情報表示	CMD:RmmDT	ANS:RmmDT	リスト表示中のみ操作が可能です。 ※WJ-RT416シリーズには対応していません。
シーケンス	CMD:HmmST00	ANS:HmmST00	
多画面表示	CMD:RmmMLn	ANS:RmmML	n=0 4分割画面 1 7分割画面 2 9分割画面 3 10分割画面 4 13分割画面 5 16分割画面 パラメーターを省略すると、レコーダーの仕様に従って分割数がトグルで切り替わります。 ※WJ-RT416シリーズではパラメーターの指定はできません。
電子ズーム	CMD:RmmZM	ANS:RmmZM	レコーダーで前面の「電子ズーム」ボタンを押したときと同じようにズーム状態がトグルで切り替わります。 なお、ズーム中は本機の設定操作コマンドを使ってズーム位置を移動することができます。 CMD:AmmJL ズーム位置移動「左」 CMD:AmmJR ズーム位置移動「右」 CMD:AmmJU ズーム位置移動「上」 CMD:AmmJD ズーム位置移動「下」 ※WJ-RT416シリーズには対応していません。

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
A-Bリピート再生	CMD:RmmRPn	ANS:RmmRP	n=0 解除 1 始点 (A点) 設定 2 終点 (B点) 設定 ※WJ-RT416シリーズには対応していません。
絞り込み再生	CMD:RmmLTn	ANS:RmmLT	n=0 絞り込み「OFF」 1 絞り込み「ON」 ※WJ-RT416シリーズには対応していません。
画面表示切り替え	CMD:RmmDI	ANS:RmmDI	コマンド送信ごとに、画面表示がトグルで切り替わります。 ※WJ-RT416シリーズには対応していません。
レコーダーの セットアップメニュー	CMD:HmmSS	ANS:HmmSS	本機のセットアップメニュー用表示コマンドをレコーダー選択中に使用するとレコーダー側のセットアップメニューを開くことができます。レコーダーセットアップメニューの操作は本機のセットアップメニュー用コマンドを次の操作として使用します。 CMD:AmmSE セットアップメニューの終了 CMD:AmmJL カーソル移動「左」 CMD:AmmJR カーソル移動「右」 CMD:AmmJU カーソル移動「上」 CMD:AmmJD カーソル移動「下」 CMD:AmmST 下層画面への移動 CMD:AmmES 上層画面への移動 CMD:AmmIN パラメーター切替 (+1) 入力フィールド内のカーソル右移動 (WJ-RT416シリーズの場合) CMD:AmmDE パラメーター切替 (-1) 入力フィールド内のカーソル左移動 (WJ-RT416シリーズの場合) CMD:AmmP+ ページ切替 (順方向) ※1 CMD:AmmP- ページ切替 (逆方向) ※1 ※1 WJ-RT416シリーズには対応していません。
コピー完了操作	CMD:RmmUMn	ANS:RmmUM	n=0 (COPY1) 1 (COPY2) ※WJ-RT416シリーズには対応していません。

レコーダーのモニター出力1に対する操作

※レコーダーのモニター出力1を外部モニターに接続した場合に使用できます。

※WJ-RT416シリーズには対応していません。

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
カメラ選択 (モニター出力1専用)	CMD:RmmLCccc	ANS:HmmLCccc	ccc=001~999 カメラ番号 (指定したカメラ番号に映像を切り替える) +1 カメラ番号+1 (次に番号の大きいカメラに切り替える) -1 カメラ番号-1 (次に番号の小さいカメラに切り替える) 【重要】 パラメーター「+」または「-」を実行した場合は、レコーダーに接続されたカメラの中で番号が切り替わります。
シーケンス (モニター出力1専用)	CMD:RmmLS	ANS:HmmLS	
多画面表示 (モニター出力1専用)	CMD:RmmLMn	ANS:RmmLM	n=0 4分割画面 1 7分割画面 2 9分割画面 3 10分割画面 4 13分割画面 5 16分割画面 パラメーターを省略すると、レコーダーの仕様によって分割数がトグルで切り替わります。
電子ズーム (モニター出力1専用)	CMD:RmmLZ	ANS:RmmLZ	レコーダーで前面の「電子ズーム」ボタンを押したときと同じように、ズーム状態がトグルで切り替わります。 なお、ズーム中は以下のコマンドを使ってズーム位置を移動することができます。 CMD:RmmLL ズーム位置移動「左」 CMD:RmmLR ズーム位置移動「右」 CMD:RmmLU ズーム位置移動「上」 CMD:RmmLD ズーム位置移動「下」
画面表示切り替え (モニター出力1専用)	CMD:RmmLI	ANS:RmmLI	コマンド送信ごとに、画面表示がトグルで切り替わります。

各種状態の取得

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
製品品番	QID	qid:WJ-SX1000	
ソフトウェアバージョン	QRV	qrv:.*	パラメーター (:1) をつけると、サブバージョン付きの応答 (x.xx.xx) となります。
ビデオ入力ボード状態の取得	QBD	qbd:l ₁ l ₂ l ₃ l ₄ l ₅	l ₁ =0 ビデオ入力ボード1「無」 1 ビデオ入力ボード1「有」 l ₄ =0 ビデオ入力ボード4「無」 1 ビデオ入力ボード4「有」 l ₅ =0 固定
モニター状態の取得	CMD:HmmPN	ANS:HmmPNmm(o)	mm=モニター番号 (o)にはモニターの状態が表示されます。 (o)=R 通常状態 B モニタービジー状態 モニター未選択中は「ER301」になります。 モニター番号が間違っている場合は「ER302」になります。
カメラ状態の取得	CMD:HmmPC	ANS:HmmPCccc(o)	ccc=mm番モニターに表示されているカメラ番号 (o)にはカメラの状態が表示されます。 (o)=R 通常状態 L ロックされている場合 A アラーム状態の場合 カメラ未選択中はccc(o)=000Rになります。 モニター未選択中は「ER301」になります。 モニター番号が間違っている場合は「ER302」になります。
レコーダー状態の取得	QHS	qhs:p:r:s:m	このコマンドはレコーダー選択中のみ受け付けます。 p=0 ライブ状態 1 再生状態 (一時停止中の状態を含みます) r=0 録画停止 1 録画中 s=0 サーチ画面表示「OFF」 1 サーチ画面表示「ON」 m=0 設定画面表示「OFF」 1 設定画面表示「ON」

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
システム状態の取得	QSS	qss :YYYYMMDDhhmmss (タイムスタンプ) :mm:c:nnnn:a:ccc:m :MMM:L:A:kk:ooooo (モニター情報1) : : :mm:c:nnnn:a:ccc:m :MMM:L:A:kk:ooooo (モニター情報16)	<ul style="list-style-type: none"> ●タイムスタンプ YYYYMMDDhhmmss=日付時刻 ●モニター情報 <ul style="list-style-type: none"> mm= 1~16 モニター番号 c= 1~8 カテゴリー番号 0 なし nnnn= 0000~9999 カメラポジション --- カメラポジション 設定なし a=1~4 カメラアングル (アングルA~Dに対応) 0 カメラアングル設定なし ccc=001~999 カメラ番号 R01~R08 レコーダー番号 000 カメラ未選択 m=1~8 運用モード MMM=000 スポット 101~132 ツアーシーケンス1~32 200 レコーダー選択 300 本機の設定画面表示 400 カメラのセットアップ 500 アラーム履歴表示 600 ビデオロス履歴表示 700 シリアルアラーム受信 エラー履歴表示 L=0 モニターロックOFF 1 モニターロックON A=0 アラームなし 1 アラーム中 kk=01~16 ターミナルコントローラー (k1-1~k1-4、…、k4-1~k4-4) 33 PS・Dataコントローラー (PSD) 37 後面シリアル (PC) 38 前面シリアル (PC) oooo=00001~99999 ユーザーID 00000 ダミーユーザー
時刻の取得	CMD:F01	ANS:F01 :YYYY:MM :DD:hh :mm:ss	YYYY=2006~2099 年 MM= 01~12 月 DD= 01~31 日 hh= 00~23 時 mm= 00~59 分 ss= 00~59 秒

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
システム状態履歴の取得	QSL(:1)	qsl :YYYYMMDDhhmmss (タイムスタンプ1) :mm:c:nnnn:a:ccc:m :MMM:L:A:kk:ooooo (モニター情報1) :… :mm:c:nnnn:a:ccc:m :MMM:L:A:kk:ooooo (モニター情報16) : : :YYYYMMDDhhmmss (タイムスタンプ100) :mm:c:nnnn:a:ccc:m :MMM:L:A:kk:ooooo (モニター情報1) :… :mm:c:nnnn:a:ccc:m :MMM:L:A:kk:ooooo (モニター情報16)	システム状態履歴には未取得のデータが入り、ログが100件に満たない場合、ログのないエリアには「0」が入ります。 パラメーター (:1) を付けると、一度取得したログも含めて100件分を取得できます。 応答コマンドのパラメーターの情報は、QSSコマンドと同じです。

本機から自発的に送信される情報

項目	送信コマンド	応答コマンド	パラメーター
アラーム変化通知	なし	ALM :yyyymmddhhmmss :ee :nnnnn :aaa :bbb :ccc :ddd :tttt	パラメーターの情報はQADの応答と同じです。 【重要】 ●アラーム変化通知の場合は、「本機の電源OFF」の情報が送信されません。 ●SX1000シリーズ設定ツールの [通信] - [シリアルコマンド] 画面で「アラーム変化通知」を「ON」に設定した場合のみ送信されます。 ●アラーム状態が変化するたびに送信されます。
システム状態通知 (1~60秒定期送信)	なし	qss :タイムスタンプ :モニター1情報 … :モニター16情報	パラメーターの情報はQSSの応答と同じです。 【重要】 ●SX1000シリーズ設定ツールの [通信] - [シリアルコマンド] 画面で「システム状態通知」を設定した場合のみ、設定した時間ごとに送信されます。 通信を円滑に行うため、5秒以上に設定することをおすすめします。